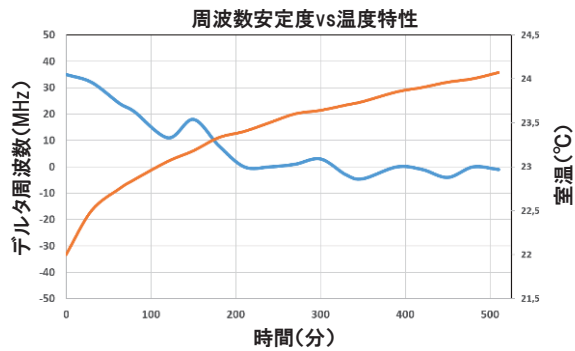


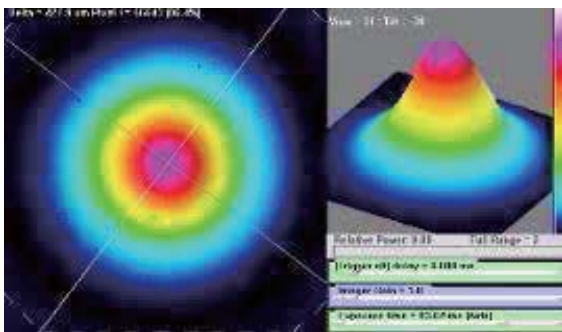


ALS CWファイバーレーザー 488nm 0.5W, 1W, 2W

全ファイバー使用のMOPA(主発振器出力増幅器)構造



上記のグラフは、ALS-BIレーザーの長時間における周波数安定度を示しています(青線:周波数MHz、赤線:室温°C)。中心周波数の安定性及びビーム位置安定性に関して、ホログラフィーをベースとする産業分野ではアルゴンレーザーの置き換えニーズに唯一対応した製品として承認されました。



ALSレーザーは、シングルモードファイバーの構造のみを採用しており高安定で優れたビーム質の単一空間モードを実現しています。
典型値:M2 < 1.2

制御 - 測定用

アルゴンレーザー置き換え

レーザードップラー流速計

高分解能干渉計

超解像顕微鏡

高度な分光測定

ホログラフィー

主な特徴

TEM₀₀モード

長いコヒーレンス長

M²<1.2

単一周波数

低ノイズ

優れたビーム位置安定性

優れた出力安定性

高い偏光比と安定性

非冷却式レーザーヘッド

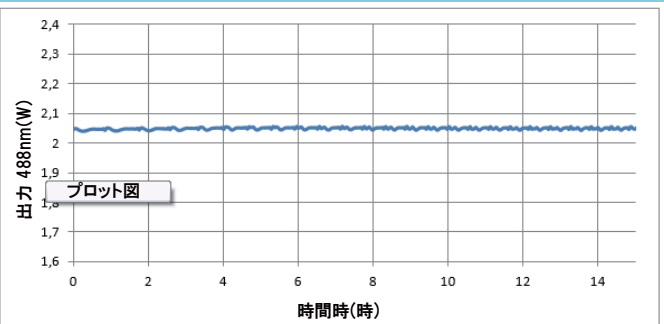
コンパクト設計

メンテナンスフリー - 長寿命

低消費電力

OEMにも対応

RoHS対応品



上記グラフは、ALS-BIシリーズの全レーザーの出力安定性を示しています。
短期での出力変動: <+/- 0.2%(検出されるノイズによって制限あり)
長期での出力変動: <+/- 0.3%

仕様

内部にシーダーを含む 488nmファイバーレーザー

波長 ⁽¹⁾	488 ± 0.25nm
出力	0.5W, 1W, 1.5W, 2W
出力可変	出力可変範囲は1～100%(10～100%でのご使用をお勧めします。)
ビーム質	M ² < 1.1
ビーム径(自由空間出力)	1 ± 0.2 mm(他のビーム径も応相談)
ビーム拡がり角(半角)	< 0.4 mrad (@1/e ²)
空間モード	TEM ₀₀
スペクトル線幅 (単一周波数発振) ⁽²⁾ (狭線幅発振)	< 200 kHz < 50 pm
出力安定性(短時間) (8時間以上)	< ± 0.2 % < ± 0.3 %
ノイズ(100Hz - 10MHz) (単一周波数発振) (狭線幅発振)	< 0.3 % rms < 0.5 % rms
周波数安定性 ⁽³⁾	< 0.1 pm
出力偏光	直線 > 300 : 1
ビーム位置安定性	< ± 0.5 μrad/°C
出力 ⁽⁴⁾	レーザーヘッド部でフリースペース出力
レーザー制御	マルチターン・ポテンシオメータ/タッチ・スクリーン/アナログ電圧
電源要件	90 - 240V / 50 - 60Hz
消費電力	200 < … < 500 W
冷却方式	空冷

- (1) ご要望により他波長も対応可能
 (2) レーザー内部の標準的なシーダーに基づく
 (3) 単一周波数発振のみ対応。8時間以上、周辺温度変化が<3°Cで測定
 (4) レーザー出力に応じてPM980/HI1060/LMA型の出力ファイバ、コリメートファイバ、マルチプル出力、ビームスプリット方式にも、オプションにて対応

寸法	
レーザーラック	480 x 460 x 130mm
レーザーヘッド	275 x 120 x 50mm



ラックとレーザーヘッドからのビーム出力部間の
ケーブル長: 約 1.5 m

非冷却式レーザーヘッド
 空冷式電源ユニット - 横幅: 19インチ(482.6mm)、
 高さ: 3U(5.25インチ/133.35mm)
 パッシブ又はアクティブな1.5mファイバー
 出力>1Wには、赤外ビームダンパー



ファイバーレーザーの出力に応じて、ビーム出力方式にカスタム対応

ビームスプリット方式 1:3 またはそれ以上、フリースペースまたはファイバー出力

ビーム整形

最新の光学機器の使用



プネウム株式会社
 〒343-0845 埼玉県越谷市南越谷 5-15-3

TEL: 048-985-2720 <http://www.pneum.co.jp>

FAX: 048-985-2721 info@pneum.co.jp 1709